



始業式に校長から話したこと

テーマは「オリンピック、パラリンピックから考えたこと」としました。

1964年の東京オリンピックは、子供たちが学ぶ社会の教科書にも「敗戦からの復興の象徴」として登場します。さて、今回のオリンピック・パラリンピックは、後世の人たちにどのような位置づけでどのように伝承されていくのでしょうか。

両大会とも、アスリートの皆さんの素晴らしい活躍や悔し涙に、心打たれ感動しました。技、表情、試合後の言葉、すべてが一流でしたし、テーマ曲のメロディと共に、数々のシーンが心に刻まれました。

一方で、コロナ禍での開催の是非、オリンピックの意義、関係者の言動等、今まで見えなかったいろいろなことが表に出ました。子供たちには、アスリートの活躍を伝えるとともに、大人社会のことには触れず、参加国や競技種目の多さから広く世界やスポーツに目を向けること、子供たちの未来には選択肢が限りなくあってそれを決めていくのは自分自身だということを話しました。

本校の学校教育目標は「自分や周りの人を大切にし、伝え合い、学び合う児童の育成」です。両大会をネタに、「自己肯定感、感謝の気持ち、学びの意義や大切さ」を語ったということです。どれだけ伝わったかわかりませんが、10分弱の講話の時間をとても大切に思っています。

子供たちの「夏休みの思い出と2学期に頑張りたいこと」～始業式の児童発表から～

始業式では、各学年の代表として、1年 渡邊ひなさん、2年 春山柚貴さん、3年 川上航汰さん、4年 山口陽聖さん、5年 山科和汰瑠さん、6年 矢田樹(いつき)さんが、夏休みの思い出や2学期に頑張りたいことを堂々と発表しました。どの発表も、夏の思い出を胸に2学期も頑張ろうと意欲が感じられてとても立派でした。6年の矢田さんの発表をご紹介します。

2学期の目標

六年 矢田 樹

私が2学期に頑張りたいことは、三つあります。一つ目は、学習面です。一学期は自主学習や授業の時に、分らない所は飛ばして、分るところだけやろうとしていました。だけど2学期は、分らない所でも分かるように努力して、自学の予習や復習にも取り組みたいと思います。二つ目は、部活です。私はバレーボールを習っています。しかし、去年の初めからコロナウイルスの影響で、試合ができなくなりました。今も、試合ができるかどうかはつきりしていませんので、もし、バレーの試合があつたら優勝したいと思っています。

三つ目は下級生を引っ張ることです。一学期は、初めての経験だったので、よくわからないことがたくさんありました。だけど、2学期は一学期の反省を生かして行きたいと思つたし、引っ張るだけでなく、お手本となる行動をしていきたいと思っています。

2学期は一学期にできなかったことを積極的にしたり、バレーも勉強も両立したりして、充実した学校生活が送れるようにしていきたいと思っています。



八月二十八日と二十九日に、民生委員児童委員の村中さんが、汗びっしょりになりながら草刈りをしてくださいました。おかげできれいになりました。ありがとうございました。

